

令和4年度環境活動報告

部局名： 教育学部

教育

- ・社会科教育(地理学)では、野外実習およびフィールド調査を取り入れた授業(自然地理学Ⅱ演習Ⅰ(2月))を行った。
- ・化学3年生に対する「環境化学」という講義のなかでSDGsの考え方、グリーンケミストリーなどに関する講義を行った。環境にやさしい化学の在り方など議論を行った。
- ・理科教育(化学)では、学部1年に対して、「化学実験及びコンピュータ処理」という講義のなかで、薬品の危険性・毒性および取り扱いなどを講義した。
- ・理科2年生に対する理科IIの授業のなかで、ウイルスの基本構造や生活環などの基本事項を講義した。また、パンデミックの歴史や感染予防などについても言及した。
- ・理科教育講座(地学)において「地球システム論」、「地球物理学実験」、「地学実験」、「地質学」、「地球環境論」、「地質学鉱物学実験」、「地球科学野外実習」、小学校「理科」、「理科IV」で岐阜県内を中心とした自然環境に関する講義と実習を行った。
- ・教育学部講義「動物生理学及び実験」(理科教育・生物・2年生)で、岐阜大学周辺での水生生物の採集・種同定を通じた、河川環境の評価を実施した。
- ・大学院講義「生物科学特論I」で、学部園場での植物観察・栽培飼育を通じて動植物と親しむとともに、「いきもの」に接する楽しさと生命を預かる責任についての学習を行った。
- ・全学共通教育講義「岐阜県の生物の分布と生態」で、河川の問題に関する講義・岐阜市および東海地方の植物相、外来生物、希少生物、環境保全に関する講義を行い、関連する内容のレポートを提出させた。
- ・大学院講義「生物の構造と機能および生物と環境の関わりに関する学習」で、身近な植物の観察を行い、児童生徒への学習方法について考察し、より良い環境教育のあり方を論じた。
- ・教育学部講義「植物形態学及び実験」(理科教育・生物・3年生)岐阜大学キャンパスでの植物の観察・採集・種同定を通じて、キャンパスの自然を評価した。
- ・教育学部講義「初年次セミナー」(理科教育・1年生)街中や岐阜大学キャンパスでの植物の観察・採集・種同定を通じて、身近な自然環境・生物多様性を学習した。
- ・(小)理科教育法(2年生)で地球環境や生態系の保全に対する理解を促す講義を行った。
- ・教育学部講義「理科」(2年生)で、身近な場所で観察できる植食性昆虫や、花の構造に関する課題に取り組ませた。
- ・教育学部講義「植物生態学概論」(理科教育・生物・2年生)で、定期的にキャンパス内の動植物の観察をして学生間で意見交換する授業内のブログ課題に取り組ませた。
- ・附属小中学校の「どう生きる科」で、身近な生き物の食物連鎖や寿命についての話題提起を行い、生命倫理と環境倫理についてのディスカッション型の授業を行った。
- ・教育学部講義「生活」(2年生)において、学部園場での身近な植物観察と栽培を行い、学生の生命尊重心・自然愛護心を育んだ。
- ・教育学部講義「細胞分子生物学及び実験」(理科教育・生物・3年生)岐阜大学キャンパスでの昆虫の採集・種同定・形態測定を通じて、キャンパスの自然を評価した。
- ・美術教育講座では、応用生物学部教員と共同で、全共科目「森と美術」を後期に実施した。受講学生10人、岐阜大学内試験林や位山演習林において、樹木観察やスケッチ、木を用いた工作活動を行った。
- ・美術教育講座の授業「彫塑1」において、生物多様性をテーマに木彫制作に取り組んだ。
- ・「家庭科概論、住居学概論、家庭電気機械」において「持続可能な住まいと環境」に関する講義を実施した。
- ・「家庭科教育法Ⅳ」において「環境とライフスタイル」情報と環境、ライフスタイルの関係について考えた。
- ・「食品学概論、調理学実験法及び調理実習」において、食品ロスに関する実情や取り組み、調理を行う際に環境負荷の軽減に着目した操作について説明を行った。
- ・「食生活演習、栄養学」において、エネルギー・栄養素フローを通じた自然と環境と人体との調和、及び、食文化について講義を行った。
- ・「被服構成学実習」において、持続可能な衣生活と環境に関する講義を実施した。
- ・学部ホームページ上において、公開講座の募集など教育学部教員の取り組みを紹介した。
- ・附属小中学校の「どう生きる科」で、植物の栽培や街づくり、環境問題といった今日の課題について調査・探究して、ディスカッション型の授業を行った。

<p>研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・美濃加茂市で繁殖している移入魚を材料とした研究を行うことで、駆除活動を実施した。 ・タナゴ類の国内移入に関する調査・研究を他大学・他研究機関と共同で実施し、学術誌で報告した。 ・地域の野生植物の複数種について、花の形態変異を計測し、遺伝的多様性について評価した。 ・附属小中学校との共同研究として「植物の分類」、「動物の分類」の研究授業を实践し、身近な環境に見られる生物への子供たちの興味関心・愛護心の向上に貢献した。 ・絶滅が危惧されるものを含む当地域の植物について、種分化と系統進化に関する研究を行い、得た知見を学会で発表した。 ・理科教育講座(地学)において、湖沼堆積物や生物化石に記録される過去の気候・環境の復元や、雨水、河川水、湖水の水文学的分析による現行の環境変化の研究を行った。 ・環境にやさしいグリーンケミストリーというテーマでの研究を行っている。そのなかで、水の再利用可能な炭素-炭素結合の開発を行うことができた。さらに、抗癌活性化化合物の探索など合成できた化合物についてスクリーニングを行うことができた。
<p>社会連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本学部教員(理科教育・生物・古屋教授)が、今年度、岐阜県自然環境保全審議会委員、岐阜県レッドデータブック改定調査検討委員会・委員長を務めた。 ・本学部教員(理科教育・生物・古屋教授)が、今年度、愛知県長良川河口堰最適運用検討委員会委員を務めた。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)が、今年度、飛騨地域エコロード委員(国土交通省)、岐阜県環境影響評価審査会、岐阜県自然環境保全審議会(岐阜県)、岐阜県レッドデータブック改定調査検討委員(岐阜県)、豊橋市文化財保護審議会委員(豊橋市)を務めるとともに、岐阜県内各所の開発予定地における環境アセスメント調査結果の現場検証や相談に対する指導・助言を行った。また、岐阜県植物研究会・運営委員、岐阜県植物誌調査会・編纂委員として、岐阜の植物相と植生の調査研究及び絶滅危惧種の評価を行った。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)が環境保全や自然観察を行う学生サークル(G-amet、生物科学研究会)などへの標本作成指導および活動をサポートした。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)が各務野科学ラボの講師を勤め、様々な生物を使った観察実験をもとに、子供たちの生物・環境への興味関心・愛護心の向上に貢献した。 ・本学部教員(理科教育・生物・須山准教授)がぎふサイエンスフェスティバルに出展し、野菜をもちいた植物多様性の学習会を行った。 ・本学部教員(理科教育・生物・三宅教授)がぎふサイエンスフェスティバルに出展し、生物観察に適した手作り顕微鏡の作成配布を行った。 ・大学連携研修(6年目研修)で「岐阜県における大地のつくり」に関する内容で岐阜県の小中学校および高等学校の教員研修を行った。 ・各務原市の小学校高学年を対象に環境放射線についての授業を実施した。 ・各務原市の小学校高学年を対象に自然界の光の性質についての授業を実施した。 ・福島県大熊町での環境放射線研修にて放射線測定の講師をした。 ・岐阜市の小中学生を対象に環境放射線についての授業を実施した。
<p>キャンパスプラン</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・環境及び省エネルギーに関する教育訓練再確認シートの記入を実施し、3月からは再確認シートのフォームによる実施を行った。 ・学生ガイダンスの際に、ISO14001に対する大学としての取り組みを紹介した。 ・教育学部特別支援教育センター玄関にトケイソウなどを植えて緑化活動(緑のカーテン)を実施した。